

入選 低学年の部

ありがとうのしろいはな

おじいちゃんのおうちにくとちゅう、山と山のあいだのせまいぐにやぐにやみちをとるので、きもちわるくなつてしまったことがなんどもありました。

いぬわしがすむ、はかせ山とみようじんがたけの山のみどりいろの中に、まつしろなおはなのじゅうたんがひろがるころ、やっとおじいちゃんとおばあちゃんのうちがみえてきます。まだつかないうちから、おじいちゃんとおばあちゃんのニコリえがおと、やさしいこえが、あたまのなかにうかんできて、くるまによつて、きもちわるかつたことなんか、わすれてしまいます。

「よくきたなあ。あがれ、あがれ。」と、だっこしてもらうと、ころのながが、ポツとあたたかくなつた気がします。

山のはたけで、たくさんのかすみそうをつくっているの、まいあさ、よじはんにおきて、あさしごといでかけるのは、とてもたいへんだとおもいます。

わたしのせよりも大きくそだつた、かすみそうを、だいたいメートルくらいのがさにきつて、シートでたばねて、トラックにつんでさぎようこやまでもつてきます。それから、ながさをそろえて、はっぱをとり、大きさに十本ずつたばねて、わごむでくるくるつとたばねます。たばねたはなは、はなをながもちさせる水につけておきます。

さいごに、はこに入れてしゅつかします。ふたりでいっしょう

福島県

会津若松市立謹教小学校一年

鈴木 愛渚

けんめいにはたらいて、三十ヶースぐらいだします。

「きようは、大きくて、きれいなながさいたなあ。よるこんでもらえつべ。」と、おじいちゃんもおばあちゃんもニコニコえがおになります。

わたしも、はっぱとりのおてつだいをしながら、どんな人がかつてくれるのかなとそうぞうすると、なんだか、ドキドキしてふしぎなきもちになります。おてつだいながら、このおはなをかつてくれた人が、きれいなはなをみて、よるこんでくれたら、うれしいなあとおもいました。

おはなは、なにもしゃべらないけれど、きつとつくっている人のきもちや、プレゼントする人のきもちがつたわるようなきがしました。

山おくのきれいなそらと、水のあるところだから、きれいなゆきのようなかすみそうがさくんだよと、おじいちゃんがおしえてくれました。はなだつて、人のきもちがわかるんだよと、おばあちゃんはいながら、こやしをあげて、せわをしていました。

わたしは、だいに、かわいがつて、おじいちゃんとおばあちゃんがそだてているから、やさしいかすみそうがさくのだとおもいます。

いつもやさしくて、たいせつなことをおしえてくれる、おじいちゃんとおばあちゃんが大すきです。ありがとう。おてつだいですね。